

日没も早くなりました。
早めのライトオンを心がけましょう。

スマートフォンでQRコードを読み込むと、DVDと同じ映像をインターネット経由でご覧いただけます。

この用紙は両面印刷でご使用ください。(表)



事故を起こすと車ほど長時間が必要…



この映像の訴求ポイントは…

- ◎居眠り運転は、車を走る凶器にします。
- ◎眠い場合はタクシーを使いましょう！



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



運転手から見た死角



この映像の訴求ポイントは…

- ◎携帯電話での通話は注意を散漫にします。
- ◎自車の死角に注意しよう。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



自転車の飛び出し



この映像の訴求ポイントは…

- ◎見通しの悪い交差点は出会い頭と一緒。
- ◎ゆっくり行きましょう。それが結果として一番の早道に。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



首都高分岐での急な車線変更



この映像の訴求ポイントは…

- ◎急な車線変更は事故の元。
- ◎相手の死角に入らない走行を心がけましょう。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



止まっている車列の横断は全て出会…



この映像の訴求ポイントは…

- ◎車線の横切りは、見通しの悪い出会い頭と心得るべし。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

【コラム】ガス欠にご用心…警告灯点灯時の残量は？

ドライバーの中には燃料の残量警告灯がつくと大慌てになる人と、どこ吹く風と平気な人もいます。では、燃料警告灯が点いてから、クルマはどのくらい走れるものなのでしょうか？

車種によって異なりますが、過去にJAFが行った実験結果では、ファミリーセダンなどでだいたい10リットル前後という結果が出ました。

ガソリン10リットルというと、燃費が5km/Lとしても走行距離にして50km。たとえば高速道路ならほぼ次のサービスエリアまではたどり着けます。最近のエコカーなどは、もっと長い距離を走れるのかもしれませんが、残量計の表示についての詳細は、取扱説明書にも記載がありますので、確認しておきましょう。

結局、残量警告灯がついても、あまり慌てる必要はないということですね。落ち着いて安全運転でガソリンスタンドを探しましょう。

とはいえ、あまり余裕を持ちすぎるのもガス欠の元なので禁物です。例年、行楽シーズンになると、高速道路など、思わぬ渋滞でガス欠になってしまうクルマは少なくありません。特にエアコンを使用していると、のろのろ運転で思いのほか燃料消費が早い場合があります。また、最近では地方を中心に、ガソリンスタンドの廃業も相次いでいます。カーナビでめぼしを付けたガソリンスタンドにようやくたどり着いたら廃業していた...なんてこともありますから、残量警告灯が点灯する前の早め早めの給油を心がけましょう。



最近セルフスタンドが増えてきたこともあり、給油時の“入れ間違い”も少なからず起きています。

ほとんどの軽自動車は、レギュラー・ガソリンで走ります。

あらかじめ乗るクルマの取扱説明書に記載の「油種」を確認しておきましょう。